

しょうわ 議会だより

第 22 号

平成14年

10月25日

9月定例議会



▲村民運動会より

おもな内容

平成13年度決算認定 (2～3ページ)

9月定例会で決めたこと (4～7ページ)

一般質問 村の姿勢を問う (12～13ページ)

一般質問追跡レポート あの質問は今 (14～15ページ)

読者シリーズ 聞きたい 知りたい みんなの声 (17ページ)

6千円(一般会計)はこう使われました



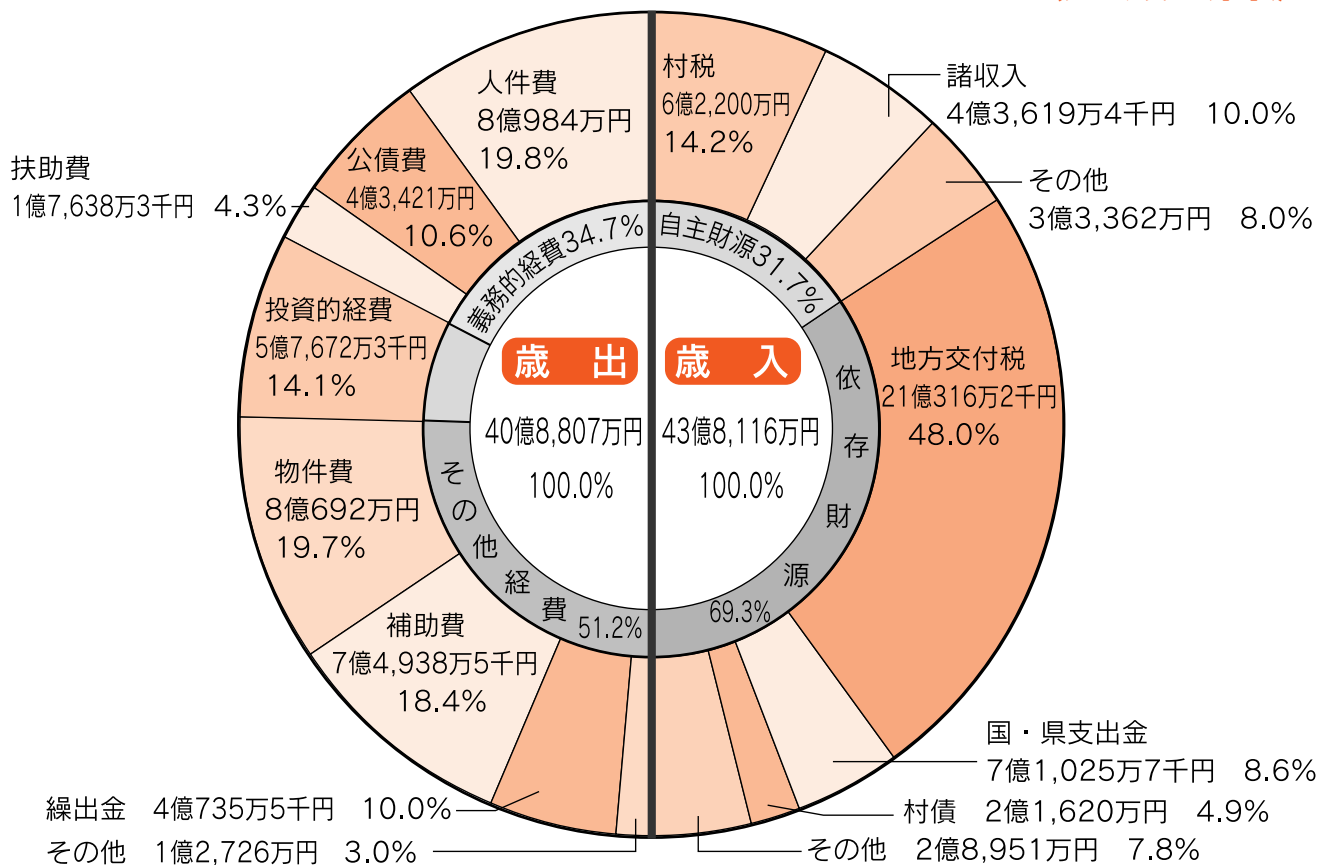
平成13年度一般会計歳入は、総額43億8116万円で、前年対比11・5%の減額となりました。

主な要因は、学校給食センター建設や各種事業の終了に伴う補助金の減額です。

歳出は、総額40億8807万6千円で、前年対比11・3%の減額となりました。

昭和村の財政は、69・3%を依存財源に頼らざるを得ない状況であり、今後、公債費（借入金返済）の増加が見込まれる中で、一層厳しい財政運営が求められます。

《一般会計》



平成13年度 決算認定

40億8,807万

《国保会計》

歳入 8億2094万4千円 (前年比 3・6%減)

歳出 7億7069万1千円 (前年比 0・5%増)

《老人会計》

歳入 8億9508万6千円 (前年比 3・8%減)

歳出 8億6348万1千円 (前年比 7・1%減)

《簡水会計》

歳入 2億2876万9千円 (前年比 68・8%減)

歳出 2億1706万7千円 (前年比 69・9%減)

《農集排会計》

歳入 6億6796万3千円 (前年比 32・5%減)

歳出 6億5124万6千円 (前年比 32・8%減)

《介護会計》

歳入 4億298万1千円 (前年比 26・2%増)

歳出 3億8137万2千円 (前年比 26・4%増)

監査委員の決算審査意見



代表監査委員

松井源之助氏



監査委員

澤浦 馨 由氏

平成13年度における昭和村一般会計及び特別会計の予算執行の状況並びに財政運営状況について審査した結果、地方公共団体の財政運営の良否を判断する実質収支は、各種事業を実施したにもかかわらず、各会計共に赤字である。これについては、必要最小の経費で最大の効果が上がるよう創意工夫がなされたのではないかと評価した。

また、公債比率10・8%、経常収支比率は83・8%となり、厳しい状況にあるので、より健全な財政運営管理に努力されたい。

今後とも行政効果を踏まえた各種施策の選択と事業の見直しを行いながら、機構を点検し、地方自治法並びに地方財政法の精神に基づき、不必要な歳出は極力抑え、基金に繰り入れられるものは繰り入れ、後年度の事業実施に充てるべき財源とすべきである。

議会日程

9月10日(火)

本会議

全員協議会

11日(水)

全員協議会

12日(木)

総務常任委員会

13日(金)

民生文教常任委員会

14日(土)

16日(月)

休会

17日(火)

産業建設常任委員会

18日(水)

全員協議会

本会議

9月定例議会は、9月10日（火）から18日（水）までの9日間の会期で開催しました。

昭和村税条例の改正を初めとする議案6件、専決処分事項の承認1件、補正予算4件、平成13年度昭和村一般会計及び特別会計決算認定が上程され、原案のとおり可決されました。

また、議会最終日の一般質問には2人が登壇し、質疑応答が交わされました。

市町村合併問題対策 特別委員会を設置

高まる関心の中で

日本中で合併の論議が行われる中、昭和村議会としても、村の将来をしっかりと見据え、昭和村に合併は必要なのか、必要でないのか、合併のメリット・デメリット等について全員協議会の中で話し合われてきました。

また、合併も利根沼田に限らず、隣接する赤城村議会との意見交換の場として、両村の正副議長、議会運営委員長、各常任委員長の出席による「昭和村議会・赤城村議会合同行政対策勉強会」を設け、今日に至るまで2回

開催し、勉強を重ねています。

8月30日に利根沼田広域合併準備会に参加したことや、今後、村当局による合併に関する地区説明会も行われる予定となり、住民の関心が益々高まることが予想されます。

我々議会は、昭和村の将来を左右する、この合



▲役場からみた風景

併問題を、さらに重要課題として調査研究を行うため、市町村合併問題対策特別委員会を設置することを決議しました。

なお、委員会は議会議員全員で構成し、今までに引き続き、いろいろな角度から検討し、住民と議会、村当局が一体となり、昭和村の将来を考えたいと思います。

市町村合併に対する 昭和村議会の取り組み

平成13年11月14日に、全国町村議会議長会が、合併は地域の声を尊重し、強制的に行わない旨の決議を行う。

昭和村議会では、平成13年12月21日に、群馬県町村議会議長会より講師を招き、市町村合併研修会を開催。全国の動きについて学ぶ。

平成14年2月5日、第2回市町村合併研修会を開催。群馬県地方課より講師を招き、国の方針等について学ぶ。

同年3月15日に、第3回市町村合併研修会。他町村との勉強会について検討する。

その後、赤城村との合同勉強会や利根郡町村議会主催の講演会へ出席。

また議会全員協議会において論議を重ね、現在に至る。

意見書を提出しました

道路特定財源の確保及び 道路整備等に関する意見書

道路は最も基本的な社会基盤施設であり、その整備は地方ではまだ充分でなく、本村でも主要幹線道路や歩道等の交通安全施設整備は緊急且つ重要な課題となっている。

よって、政府に道路整備の一層の促進と財源の確保を強く要望し、内閣総理大臣外各関係省庁に意見書を提出しました。

平成14年9月18日

昭和村議会

地方税源の充実確保に 関する意見書

地方財政は大幅な税収減により非常に厳しい状況下にあります。地方分権に伴い、地方自治体が担う役割は益々増大しています。このような状況の中で、増大する住民ニーズに応えるためにも財政の健全化と地方税源の充実を図ることは、重要と思います。

よって、内閣総理大臣外関係省庁に意見書を提出しました。

平成14年9月18日

昭和村議会



根岸哲之祐氏
(池原 78歳)

固定資産評価審査委員に 根岸哲之祐氏が再任

固定資産評価審査委員会委員に、根岸哲之祐さんが再任されました。根岸さんは、固定資産評価審査委員だけでなく、村の事業においていろいろな方面で活躍されており、これからも、その実績を村のために役立てていただきたいと思います。

昭和村議会議員の 定数を定める条例を制定

地方自治法の改正により、現行の法定数制度を廃止し、地方自治体自らが議会の議決を経て、条例により議員定数を定めることになり、制定しました。この条例は、平成15年1月1日から施行し、施行後初めて的一般選挙から適用されます。

昭和村議会会議規則を 改正しました

地方自治法の改正により、議員派遣の法制化が平成14年4月1日から施行されました。これに伴い、地方自治体の会議規則で規定することにより、必要あると認められるときは、議員を派遣出来ることになりました。議員の派遣は、議会の議決を得るとなっていますが、緊急の場合は議長権限で派遣出来ます。

こういふことが 決まりました。

国民健康保険が変更

(全員賛成)

健康保険制度の改正により、一部負担金等の見直しが行われました。

3歳未満の乳幼児の一部負担金の割合が2割に、70歳以上の一部負担金の割合が1割に、70歳

以上の一定以上の所得者の一部負担金の割合が2割となりました。

また、国民健康保険税条例は、納税義務者の税負担の公平性の確保を図るために改正されました。

Q 昭和村の対象者は、減税になるのか、増税になるのか、補足説明をいただきたい。

A 税務課長

公的年金受給者の被保険者と給与所得者は、国民健康保険所得割の計算をするときに、今までは基礎控除額に特別控除額を足した額を控除していましたが、今後は特別控除を廃止するため、基礎控除額のみを控除になるので、増税になります。

また、公共事業譲渡所得等については、従来、特別控除に課税されていましたが、それがなくなり減税になります。



▲つくしんぼクラブ

永井・入原地区 農業集落排水処理 施設の住所が確定

(全員賛成)

現在建設中の、永井・入原地区農業集落排水処理施設の住所が決まりました。

昭和村大字川額1961番地

この施設は、平成16年
完成予定です。



▲永井・入原地区污水处理施設建設地

法人税に

連結納税制度を創設

(全員賛成)

法人税の負担軽減措置を図るため、連結納税制度が創設されました。

これによって、子会社が赤字決算になったとしても、親会社が子会社の

赤字を合算して、納税出来ることになりました。

今現在、昭和村では該当する会社はありません。

福祉医療費支給条例

表現を簡略化

(全員賛成)

健康保険法の改正で、

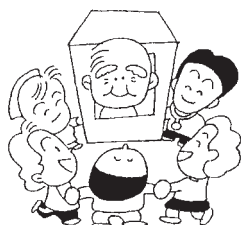
「医療費」を「医療給付費」に表現を変えました。

また、一部負担金の定義を改正、医療機関等の定義に柔道整復師を加えました。

老人保健法の住所地特

例にかかる規定の削除、乳幼児、重度心身障害者の定義の削除、公費負担

医療費の条文の整理等を行いました。



補正予算

一般会計

公衆トイレ設置など

4千744万7千円増額

(全員賛成)

歳入・歳出ともに4千744万7千円を増額し、総額39億764万3千円になりました。

主な内容としては、村内に観光農園をはじめ、昭和の森各施設がオープンし、望郷ラインの完成

後、来村者が増加することを想定し、公衆トイレを設置することや、畜産糞尿等の野積みが禁止されることに伴い、追分有機資源利用組合により堆肥舎等事業を実施するものです。

国保会計

4363万3千円増額

歳入・歳出それぞれ4363万3千円を増額し、総額8億5180万7千円となりました。

農集排会計

1694万9千円減額

歳入・歳出それぞれ1694万9千円を減額し、総額7億3220万7千円となりました。

介護保険会計

1404万7千円増額

歳入・歳出それぞれ1404万7千円を増額し、総額4億6340万7千円となりました。

常任委員会のうごき

本委員会は9月12日役場会議室で開催しました。

まず、平成13年度決算について話し合いを行い、所管事務について詳細な説明を受けました。請願陳情の審査では、ライフフル射撃場整備についての陳情書は、ライフフル射撃場の現状と村の財

政等を考え、まだまだ調査検討を要するとして、継続としました。

日本国憲法第9条を擁護し、有事法制関連法案の撤回を求める意見書採択についての請願書及び有事法制三法案廃案の意見書を求める請願については、日本国憲法に関わる重要な問題であり、慎重に検討する必要があるとして、継続としました。

また、無登録農薬関係については、本村において重要な問題であると考え、先に問題が取り上げられていた榛名町の現地調査を行い、梨の直売を行っている方から現状と対策について話を聞くことが出来ました。

総務常任委員会



▲榛名町で

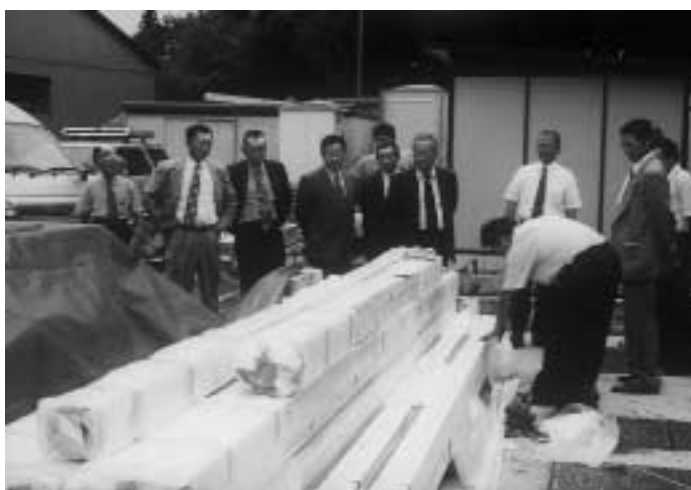
民生文教常任委員会

本委員会は9月13日に役場会議室で開催しました。

請願陳情の審査では、住民基本台帳ネットワークシステムに関する施行延期を求める決議案採択要望では、要望趣旨が稼働延期を求めるものです。6月5日に提出されたため、6月定例会での

審査に間に合わず、既に本村でも稼働されています。このシステムについて議論を行いました。結論に至らず、継続としました。

また、平成13年度決算認定と所管事務について意見交換と現地調査を行いました。現地調査の結果、昭和の湯改修工事に



▲昭和の湯改修工事

ついて、「築後6年で大規模な改修が必要になるのは設計ミスではないか。」「この設計会社を第1保育園のコンペに参加させたのはどうか。」との指摘もあり、今後の行政運営に活かして欲しいと思います。

産業建設常任委員会



▲村道岩下1号線

本委員会は9月17日に役場会議室で開催しました。
請願陳情の審査では、まず、平成13年度決算について話し合いました。
請願陳情の審査では、現地調査を行い、村道岩下1号線側溝布設工事については、既存の排水溝

での雨水処理は難しいと見られることから、採択しました。
村道根岸1号線舗装及び排水処理工事については、現状のままでは住民の生活に支障があると考えられるため、採択しました。
村道東中学校線の道路

拡幅については、今後第1保育園の建設がされること等を考え、採択しました。
上中野地区・中野上15号線、上中野5120号線排水溝改修工事については、現在、補助事業で取り組んでいることから、採択としました。
長者久保地区道路改修工事については、設置されている側溝の状況を見ると、大変危険な状態であることから、採択としました。
村道大坂中野線拡幅工事については、カーブでの事故が多発していること、路肩が崩壊している等の状況から、その部分の改善を早急に行うことを要望し、採択しました。
また、無登録農薬問題について、JA利根沼田営農経済総合センターで、本村の現在の状況について説明を受けました。
そして、今後の対応の



▲長者久保地区現地調査

参考とするため、榛名町JAはぐくみ久留馬選果場を訪れ、無登録農薬使用発覚から今までの対応について話を伺い、何より大切なことは、早急な対処と市場との直接的な話し合いである、今後は消費者の安心と信頼をい

かにして取り戻すかが課題であると言ったことでした。
昭和村でも今後同じような課題が出ると思われるが、迅速な対応を当局にお願いしたいと思います。

特別委員会のうごき

全員協議会から

▽8月8日（木）

利根沼田地域合併問題勉強会への参加についての意見交換を行いました。賛否両論の意見が活発に交わされ、総括して、今回は態度保留の姿勢をとり、再度全員協議会で意見交換することになりました。

また、白沢村・川場村・昭和村の三村合同での最終処分場の建設について、昭和村役場内に事務所を設け事務を始めたところ、群馬県から、もう一度沼田市を含めた最終処分場について話し合いをと言う要請があったと村長から報告を受けました。

▽9月10日（火）

～11日（水）

平成13年度一般会計及び特別会計決算について、各担当課より説明を受け、意見交換を行いました。

した。

その中で、交通指導員の食料費が大きいことや、公債費の交付税参入について、地域活性化センターを第2公民館的に利用出来ないか、また納税部長制度の廃止についてなど、様々な質疑を行いました。

また第1保育園の改築に関係して、子育て保育園は、民間委託とは言え、村の保育園と同じように地元住民は思っているの、建て替えについては、土地の確保等の時、村で補助して欲しいとの意見や、阿曽城跡に草が生い茂っている所以对処して欲しいと言う意見も出されました。

▽9月13日（金）

昭和村農業安全使用対策本部の設置について説明がありました。本部長に、加藤村長、

副本部長に七五三木議長・大島J A利根沼田組合長・加藤農業委員長が就任しました。

今後の対応は、平成14年以前に無登録農薬を使用したものは回収し、平成14年に使用したものは出荷停止し、焼却処分する。焼却費用は、個人負担。また個体検査を出来る機関が県内2カ所しかない、検査費等、はつきりわからないため村当局に任せて欲しいと言うことでした。

▽9月18日（水）

無登録農薬実態調査報告及び利子補給について説明がありました。

無登録農薬使用農家対象の会議では、今後の対応について説明。欠席した農家にも会議の内容について説明を行い、了解を得て、対策本部に対して、今後は使用しない誓約書を提出していただいたいと言うことです。会議の中で、村の指導どおりに農作物の処分

をするが、収入がなくなってしまうので、何とか資金の融資を、と言う声があったそうです。

それについて、県の制度では、経営支援資金融資限度額500万円で、融資期間は1年、利子補給を県1・7%、町村1・3%の合計3%となっている。村長から融資制度について理解して欲しいと話がありました。これに対して、本議会でも全員一致で賛成しました。



▲消費者に安全で安心な野菜を

市町村合併問題 対策特別委員会から

▽10月9日（水）

初委員会が開催されました。

委員長に、諸田副議長、副委員長に、吉野議会運営委員長が就任しました。

市町村合併についての

地区説明会の早急な開催

を強く要望したところ、

10月28日から、市町村合併の概要についての説明会を行うことに決まりました。

各地区の日程は、次のとおりです。



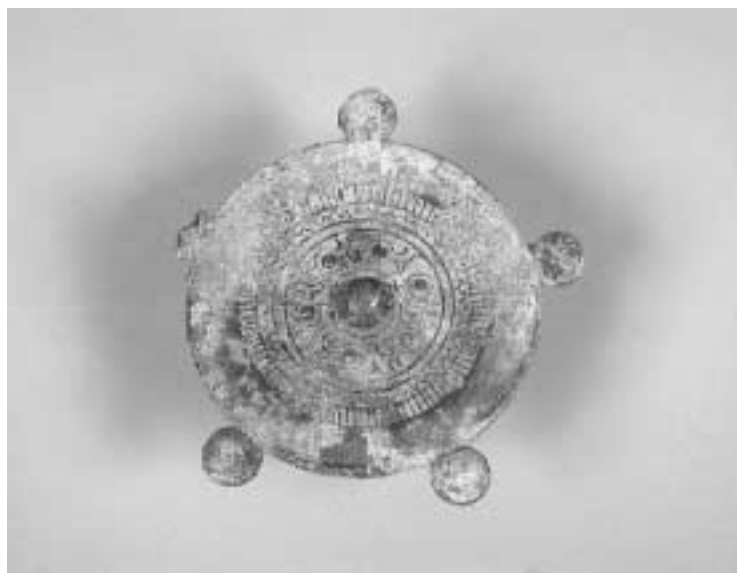
1. 日程及び会場

期 日	行 政 区	会 場
10月28日（月）	橡 久 保 区	橡久保住民センター
	生 越 区	生越住民センター
10月29日（火）	鎌 沢 ・ 上 組 ・ 中 組 区	森下中組住民センター
	中 野 区	婦人の家
10月30日（水）	森 下 下 宿 ・ 入 沢 区	地域活性化センター
	大 河 原 ・ 長 者 久 保 区	大河原住民センター
10月31日（木）	川 額 区	川額集落センター
	追 分 ・ 赤 谷 区	赤谷住民センター
11月 1 日（金）	入 原 区	入原公民館
	滝 久 保 ・ 池 原 区	貝野瀬構造改善センター
11月 5 日（火）	永 井 区	永井住民センター
	松ノ木平第1・第2区	松ノ木平第2住民センター
11月 6 日（水）	田 岸 ・ 大 堀 区	貝野瀬構造改善センター
	滝寺・上内出・南内出区	上糸井住民センター
11月 7 日（木）	赤 城 原 区	赤城原住民センター
	中宿・中内出・常木区	JA利根沼田系之瀬支所
11月 8 日（金）	吹 張 ・ 宿 区	吹張集会所

2. 開催時刻 午後7時より

一般質問

村の姿勢を問う！



▲五鈴鏡



林 謙蔵議員

文化財の 展示資料館を

Q 先人が苦難と共に築き上げてきた、村の歴史や技術、生活の様子など、文化財として形に残して欲しいと思うが、文化財として展示出来るような資料は何点くらいあるのか。

A 村 長
文化財の点数ですが、収集した民族資料が150点、考古資料は厳選されたものが4000点弱あります。

Q 中でも特に重要だと

思われる資料はあるのか。

A 村 長

特に重要な資料と思われる資料は、鍛冶屋地2号古墳より出土した「五鈴鏡」です。

また、糸井大夫遺跡から出土した「鉄製羽釜」は、県内で初めてのものであり、全国でも3例目の貴重な資料と理解しています。

Q 今後、展示に向けて、村としては、どう考えているのか。

A 村 長

中棚遺跡は、縄文時代から平安時代に至り、その考古資料は、極めて学術性の高いコレクションとして評価されていることから、その資料の散逸を防ぐため、本村公民館に一括管理・展示していきます。

また、糸井宮ノ前遺跡は、東小学校の空き教室



▲鉄製羽釜

を利用して展示し、学校教育での活用が図られています。

Q 資料館の建設計画はあるのか。

A 村 長

今後、村でも民族資料や出土品等、一堂に展示できる資料館等を検討していかなければならない

と思っています。

Q 資料館の建設に至るまでには時間がかかると思う。

村の施設内にコーナーを設けて重要なものを展示する等、検討して欲しい。



林 幸司議員

住宅対策 促進を

Q 村営住宅の建設は、村長の公約であり、来年度予算で実施し、その公約を守るのかどうか。

A 村 長

村営住宅の建設は、民間の経営や技術等のノウハウを活用する方法が望ましいと考えます。

現在、その方法を検討中です。

Q 来年度予算で実施しようとしている少子化対策の充実についての決意は。

A 村 長

来年度改築予定の第1保育園に、一時保育室や子育て支援室を設置したいと思っています。

また、延長保育等、検討していきたいと思っています。



▲役場の窓口業務

情報公開条例・ 個人情報保護条 例の制定は

Q 情報公開条例と個人情報保護条例はセットで整備することが常識と思

うが状況について説明を求め、早急に制定して欲しい。

A 村 長

情報公開条例は公文書の管理が重要であり、庁内に文書管理改善委員会を設置し、情報公開に向けて検討を重ねています。

個人情報保護条例は、

無登録農薬問題 と村の農産物の 安全・安心対策は

住民基本台帳ネットワークに限らず、個人のプライバシー問題は重要であり、本村の執行事務全体を含めた中で検討します。

Q 無登録農薬問題の経過と教訓から、消費者に

安全で安心出来る農産物の供給をし続けていくための対応は。

A 村 長

9月12日に昭和村農薬安全使用対策本部を設置し、今後の方針と対応を協議しています。

安心野菜の産地として、消費者の信頼回復と農薬安全使用基準を守っていきたくと思っています。

鮎の冷水病対策は

Q 片品川で鮎が釣れなくなった原因をどう認識しているか。

また行政には放流事業をチェックする監督責任があると言われるが、どのような責務があるか。

A 村 長

原因はいろいろ考えられ、因果関係は解明されていませんが、放流した稚魚が冷水病に感染していた疑いがあり、冷水病治療薬の開発が強く望まれています。

また放流事業については、村の監督責任はありません。

県道の歩道整備促進を

Q 県道への歩道整備の促進についてどう考えるか。

A 村 長

早急に歩道等の交通安全施設も含めた拡幅改良が必要だと思います。

県道の歩道未設置区間は、県や県議会等へ強く要望や、陳情活動を実施したいと思っています。

消防団詰所の環境整備は…

平成10年12月、消防団詰所にトイレや休憩室の設置状況や今後改善する、計画はあるのか質問しました。

村長（前林秀英村長）の答弁では、「村内10カ所の消防団詰所のうち、トイレが設置されているのは、森下の第一分団詰

所だけ。」

「周囲の状況をよく調査し、消防委員会に諮って検討したい。」ということでした。

その後、消防団詰所の環境は改善されたのでしょうか。

現在、防災緊急事業・5カ年計画（平成13年～



▲消防団の活動

平成17年）に基づいて、平成13年度から実施しています。

平成11年10月に、第3・第5・第7・第8・第9分団に野外ユニットトイレが設置され、消防団詰所のトイレの問題は解消されました。

また平成13年度からの5カ年をかけて、消防ポンプ車の買い換えを計画、今年度は、第四分団詰所新築、第八分団詰所の移転、改築工事が行われる予定になっているようです。

昭和ICアクセス道路と

君河原交差点への信号設置は…

平成11年3月、昭和ICアクセス道路の森下中組地区の交差点と鎌沢川額幹線農道と県道の交差点（川額・藤井地区）等、村内の危険と思われる交差点に信号設置をと質問しました。村長（前林秀英村長）の答弁は、「鎌沢・川額地区の幹線道路交差点では、開通から平成11年3月までで、9件の人身事故が発生、村としても警察に強く要望しているが、平成10年度実

施は出来ない」と言うことでした。

森下中組地区の交差点の信号機設置については、現在も要望中であり、早期設置に向けて、関係機関に働きかけている。ということですが、住民の安全や安心して生活できる環境づくりに一層の努力をお願いしたいと思います。

昭和ICアクセス道路

跡レポート

問は今

14年9月定例議会迄の、4年に対し要望や問題提起が行われ人数42人、質問総件数122した。



▲君河原交差点

村営住宅建設の計画は…

村営住宅の建設については平成11年12月に最初の質問がされ、その後、3人の議員が質問するという、議会に取って、また住民の方々に取っても

関心の高い問題だと思います。旧東中学校跡地に村営住宅を、という陳情が糸井区からだされ、議会でも全会一致で採択した経緯もありました。

まず平成11年12月一般質問では、旧東中学校跡地に村営住宅と保育園と建設してはという提案がされ、それに対し、村長は、「旧東中学校跡地は、ミニ工業団地用地としているが、利根昭和IIC株式会社が開発計画から除外すれば、村の計画に基づいた開発も可能。」と答弁。その後、「村営住宅建設は、村単独事業だけでなく、民間を含めた事業方法もあると考えるが。」

との質問に村長は、

「出来るだけ財政負担が少なく、村民サービスにつながるような手法を検討中。」と答弁。

また平成12年6月、加藤秀光村長の初めての議会で、「村営住宅建設を

一般質問追

あの質

平成10年12月定例議会から、間に議員から一般質問で村当局られました。一般質問者数14人延件の内で主なものを、調査しま



▲利根村の村営住宅

公約としていたが、いつ頃実現するか。」

という質問に、

「村民の村営住宅が必要なので建設に向けて努力を」と言う声を聞き、その要望を大切にし前向きに検討しなければと思い公約とした。村単独事業ではなく、種々選択肢が有ると、思われるので、今後出来るだけ村財政負担をかけず、村民ニーズに応える努力をしたい。」と答弁しました。

そして平成14年6月、「村営住宅建設は、村長の公約の一つと記憶しているが、任期中に建設す

るためには、今年度中に具体的な検討が必要と思われるが。」

との質問に、

「他市町村を調査したが、住民ニーズに充分答えられず、財政圧迫の要因にもなっている。しかし、多方面から検討し、住民ニーズにあった村営住宅は必要と考えている。」と答弁。

これまでの経過を見ると、計画が進んでいると考えるのは難しいと思われる。



▲旧昭和東中学校跡地

しかし、前林秀英村長、加藤秀光村長ともに、村営住宅の建設には、前向きな考えをもっているもので、今後、他市町村の運営状況や、建設方法等について十分な調査、検討を行って欲しいと思います。

そして、昭和村に一番合うと思われる方法を、見出し、住民ニーズに応え、村の活性化につながるような、村営住宅の早期建設を実現して欲しいとおもいます。



みなさんからの請願・陳情



自：平成13年8月9日

至：平成14年9月2日

受理 番号	受 理 年月日	件 名	陳情者の 住所・氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会	審議結果
113	H13.8.9	ライフル射撃場整備についての陳情書	群馬県猟友会 会長 藤井輔二郎 他2名	諸田貞治 吉野藤彦 古澤 昇 横坂正章	総 務	継 続
144	H14.5.31	日本国憲法第9条を擁護し、有事法制 関連法案の撤回を求める意見書採択に ついての請願書	利根沼田平和委員会 会長 穂苅清一	林 幸司	総 務	継 続
145	H14.5.31	有事法制三法案廃案の意見書を求める 請願	安保破棄諸要求貫徹 群馬県実行委員会 委員長 吉村駿一	林 幸司	総 務	継 続
146	H14.6.5	「有事法制」関連三法案の廃案を求め る意見書採択を求める要請書	守ろう！平和憲法群 馬ネットワーク 代表委員 石黒寅毅 他8名		配布 のみ	
147	H14.6.10	住民基本台帳ネットワークシステムに関 する施行延期を求める決議案採択要望	日本弁護士連合会 会長 本林 徹		民 文	継 続
148	H14.8.22	村道岩下1号線側溝布設工事について の陳情	永井区長 諸田政夫 他1名	諸田貞治	産 建	採 択
149	H14.8.23	村道根岸1号線（1029）舗装及び排 水処理工事の陳情	川額区長 倉澤永二 他4名	藤井愛作	産 建	採 択
151	H14.8.30	村道東中学校線の道路拡幅を求める陳 情	滝寺区長 阿部孝司 他2名	後藤忠彦 小野一男	産 建	採 択
152	H14.9.2	上中野地区（中野上15号線、上中野5120 号線）排水溝改修工事のお願い（陳情）	中野上区長 堤 義明 他7名	治田貞賢	産 建	採 択
153	H14.9.2	長者久保地区道路改修工事のお願い （陳情）（村道長者久保・大河原線 4149号、1級村道中野横断道路線）	長者久保区長 五十嵐順一 他6名	治田貞賢	産 建	採 択
154	H14.9.2	村道大坂中野線拡幅工事のお願いにつ いての陳情	大堀区長 横坂義昭 外5名	横坂正章 林 謙蔵	産 建	趣旨採択



子育て保育園副園長
赤石 邦夫さん

昭和村の印象

車に乗り込み約1時間。在住している前橋から、昭和村まで毎日通っています。昭和村へ通うことになる前は、コンピュータの仕事をしていた。その後、縁あって今年から子育て保育園にお世話になることになり

ました。

昭和村の第一印象は、静かな高原地帯といったところですかね。前橋もそれほど都会というわけではないですが、それでも昭和村来ると何か心が癒される気持ちになります。それは、この村で



中里 信幸さん

交通事故に遭わないように

私は四月から交通安全協会の会長としてお世話になっていきます。

指導や奉仕作業を行っています。

交通安全協会では、春夏秋冬と計四回の交通安全週間やカーブミラーの清掃等を行っています。それらを各地域の役員さんにお世話になり、街頭

シートベルトの着用キヤンペーンや交差点に立つて行う街頭指導をしている時、その効果に不安を感じる事もありました。しかし、私達の姿を見て急いでシートベルト

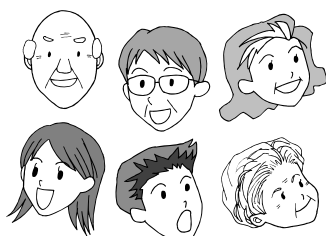
接する方々の人柄であったり、広い畑の風景であったり。

毎日保育園で小さな子供と遊んでいることも心が和みます。以前のように毎回必ず正しい答えを返すコンピュータを相手にするより、正解でもそうでなくても、毎回違った

答えを返してくれる子供の方が私にはむいているようです。昭和村は子供や高齢の方に対する福祉に大変力を入れている印象を受け非常に住みやすいとおもいます。

私は昭和村が大好きです。

老たい・知りたい みんなの声



をしめる人、ご苦労様と声をかけてくれる人、笑顔であいさつをしてくれる人達等を見てみると、安全運転に対し、再確認をしてもええかなと感じます。

事故をおこそうと思つて運転している人はいないと思います。事故に遭

わない為にも、車を運転する際には安全運転をしようという、本人の気持ちと、周りの家族からの「気を付けて」と声を掛けてあげる事が大事な事なのではないかと思ひます。

私達、交通安全協会の活動が事故軽減に繋がれば幸いにおもいます。



須藤 澄子さん

生き甲斐のあるグループ活動

戦前、戦中、戦後とめまぐるしく変貌した時代の波にもまれながらもたくましく生き抜いた人達のグループがあります。

その人達の多くは農業と取り組んでこれましたが、いつの間にか高齢となり、次代に引き継ぐ事になりました。その後何を

楽しみにとの生き方に戸惑った末、他人頼みではダメ、自分たちで、との心意気で企てたのが切り絵でした。(糸井中央老人会有志 既に十年が経過しました。

作品の一部が中学生の米国ホームステイのお土産となつて喜ばれたり、村の文化祭を始め出展の要請があれば協力を惜し

まず展示していただいています。不思議なことに、衰えた視力が夜でも切り絵に向かうと視力も気にならず無心になれると話してくれた人もおられます。

体調まで充実してくるとか、個人の生き甲斐や仲間とのふれあいに成果をあげる活動、これこそが生涯学習の根幹をなすものと私は考えます。

平均年齢八十歳となる先輩達から村の歴史や文化の流れ等を教えて頂きながら、私も努力を惜しまずさらに交流を深め、今後の人生をより豊かに生きたいと願っております。

平成14年10月25日号

発行

昭和村議会

〒379-1298 群馬県利根
TEL 0278(24)5111

FAX 0278(22)4989

編集 議会だより編集委員会
印刷 (有)利根印刷所

村の安全と安心のために



林 祐司さん

消防団長を4月1日付
けで拝命し今日まで、火
災出動4回、行方不明捜
索3回、計7回の出動が
ありましたが、村民の安
全を確保する為団員と共
に防火、防災に、日夜努
力をしています。

さて、今年度ポンプ操
法競技会に、六分団、八
分団が出場し6月2日の
支部大会でダブル優勝、
8月21日行われた県大会
では、六分団が優勝、八
分団がトップと2点差の
4位という立派な成績を
あげ、県下に昭和村消防
団の操法技術のレベルの
高さと、団結力の強さを
アピールする事ができま
した。また六分団は10月
24日横浜市で行われる全
国大会に本県代表として
出場する為連日連夜練習
に励んでいます。

4月から練習を始め八
分団は5ヶ月、六分団は
7ヶ月間、一生懸命練習

に打ち込み今回の立派な
成績、栄冠を勝ち取った
訳ですが、その間の団員
の努力、苦勞には本当に
頭の下がる思いです。ま
た、それ以上にご家族の
方々のご協力には心より
感謝申し上げます。ご家
族の理解、協力がなくては
今回の結果は考えられま
せん。ありがとうございます。
ました。

消防団は、春と秋2回
全団員を集め消防訓練を
実施していますが、ポン
プ操法は、災害現場にお
いて、状況把握、正確な
命令伝達、迅速な行動、
安全確保等、消防訓練を
補う最も重要な役割を占
めています。どうかこれ
からもポンプ操法のみな
らず消防団活動に対しご
家族のご理解とご協力を
お願い致します。ことに
は、村民皆様の安全と安
心を心から願っております。

議会のうごき

8 月

- 8日 議会全員協議会
昭和村議会・赤城村議会
合同行政対策勉強会
- 16日 利根沼田地域合併問題勉強会
- 21日 ポンプ操法競技会県大会
- 22日 議会全員協議会
- 27日 利根郡社会福祉大会
- 28日 第32回昭和村ゲートボール大会
- 29日 戦没者慰霊祭
- 30日 広域圏定例議員協議会



9 月

- 1日 壮年ソフトボール大会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 第40回郡民体育大会昭和村結
団式
- 10日 9月定例議会
- ～18日 (詳細は3ページに)
- 19日 県議会への請願並びに陳情
- 21日 昭和中学校運動会
- 25日 交通安全ゲートボール大会
- 26日 第1保育園運動会
- 27日 第2保育園運動会
- 28日 子育て保育園運動会
- 29日 村民運動会
- 30日 議会だより編集委員会
利根沼田任意合併協議会準備
会会議

10 月

- 6日 昭和の秋祭り
- 9日 議会全員協議会
- 9日 利根郡正副議長・正副常任委
員長・事務局長研修会
- ～10日 郡民体育大会
- 13日 昭和村消防団秋期点検
- 14日 群馬県町村議会議員研修会
- 15日 議会だより編集委員会
- 17日 村民チャリティーゴルフ大会
- 20日 チャリティー舞踊発表会
- 24日 ポンプ操法競技会全国大会
- 25日 昭和村議会・赤城村議会
合同行政対策勉強会

編集室から

私達一期議員が中心と
なり編集してきた「議会
だより」の発行も、今回
で最終となりました。

議会や、行政の動きを

報告し、皆様方のご指導

を受けながら、村民皆様

と一体となつて、村づく

りを、進めてゆく為に、

皆様に読んで戴ける様努

力して参りました。

今後ともご愛読のほ
どをよろしくお願いいた
します。

議長 七五三木隆

副議長 諸田 貞治

議会だより編集委員会

委員長 小野 一男

副委員長 古澤 昇

委員 新木 一雄

治田 貞賢

藤井 愛作



とじておくと便利です